

診療放射線技師養成のための専門英語教材開発(2020)

診療放射線技師養成のための専門英語教材開発 -自律的な学習態度の確立と維持を目的として- (2021)

伊藤 彰¹⁾
山崎 麻由美¹⁾

COVID-19の流行によって一時的な減速は見られたが、日本社会の国際化は今後も進展すると考えられる。診療放射線技師は患者に相対して業務を行い、診断的価値の高い画像情報を安全に取得することを目指している。このため非日本語話者に対しては外国語によるコミュニケーションスキルが必要である。診療の場面で出会う非日本語話者の母語は様々であるが、国際語としての英語の有用性は高い。しかし診療放射線技師の業務に特化した学生向け専門英語教材は、ほとんど市販されていない。そこで2020年度テーマ別研究では独自に英会話教材を作成した。教材は診療の場面における診療放射線技師と患者の典型的な会話で構成した。放射線検査や治療には多くのバリエーションがあるが、検査におけるコミュニケーションには一定の共通性がある。それぞれの検査時の会話でこの定型的パターンを繰り返し提示することで、学生自身がパターンを見つけ出し、身につけられることを目標とした。

これに引き続き2021年度テーマ別研究では学生の自律的な学習を助けるための動画教材を作成した。動画では本学学生が診療放射線技師役となり、英語ネイティブスピーカーの模擬患者に対して検査時の対応を演じた。同じ大学生が英語で検査を実施する姿を示すことで、英語の言葉を発することへの抵抗感を取り除くとともに、身振り手振りなど非言語的コミュニケーションの有用性も提示した。

1) 保健科学部診療放射線学科